

GUARDIANWALL V7.1.02-4102 for Linux リリースノート

GUARDIANWALL V7.1.00-4100 for Linux から GUARDIANWALL V7.1.02-4102 for Linux において、以下の機能追加および修正変更がなされました。

※GUARDIANWALL V7.1.02-4102 for Linux は、「GUARDIANSUITE V4.1.01 for Linux 修正パッチ」による修正を全て含みますので、本バージョンへのバージョンアップを行われる場合は、「GUARDIANSUITE V4.1.01 for Linux 修正パッチ」を適用する必要はございません。

1. 修正

(1) リストアカレンダーにおいてリストアデータが有り则表示されない不具合

管理画面において、[共通] - [データ管理] - [リストア] - [ディスク] の「リストアカレンダー」表示時、リストアディレクトリ内に保存メールログと情報検査ログだけが存在する場合、リストアデータが有り则表示されない不具合があり、これを修正致しました。

(2) メール監査統計情報のグループ管理条件が正しく判定されない不具合

メール監査統計の管理者ごとのグループ管理判定で、発信者アドレスの判定方法を変更するオプション”FromFilterSelect_Log”を、デフォルト(=ヘッダー)からエンベロープに変更してもヘッダーしか対象としない不具合があり、これを修正致しました。

(3) sweep 処理時に mw_mss の起動が失敗する不具合

mw_mss から定期的起動する sweep 処理の子プロセスが動作中に、mw_mss の再起動を行うと port がバインドできず起動が失敗する不具合があり、これを修正致しました。

(4) [保留メール管理] の送信 BOX や削除 BOX の保存情報がクリアされる不具合

管理対象グループを設定されている管理者が、保留メール管理画面を開いた際、管理対象外のメールが「送信 BOX」や「削除 BOX」内にあると、その保存情報がクリアされる不具合があり、これを修正致しました

(5) 操作ログのバックアップ処理における不具合

23:59:59.999 ~ 23:59:59.999999 の間に記録された操作ログがバックアップされず、その時間に記録された操作ログのバックアップデータがリストア時に正しく閲覧できない不具合があり、これを修正致しました。

(6) guts_httpc のタイムアウト時にハングアップする可能性がある不具合

guts_httpc のタイムアウト時にハングアップする可能性がある不具合があり、これを修正致しました。

(7) テープバックアップ時、テープが元の位置に戻らない不具合

テープへバックアップを行う際、バックアップ開始位置がテープの先頭でなく途中であった場合、処理終了後、元の位置に巻き戻らない不具合があり、これを修正致しました。

2. 機能追加

(1) ブラウザおよび、対応 OS の追加

本バージョンから、以下のクライアント、サーバ OS に対応致しました。

- ・ クライアント PC (管理画面にアクセスする端末)

OS: Windows Vista

ブラウザ: Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 sp3

Microsoft Internet Explorer バージョン 7.0 sp1

- ・ GUARDIANWALL サーバ

OS: RedHat Enterprise Linux V5

3. 変更

(1) 新社名対応

開発元(旧キヤノンシステムソリューションズ)の社名変更により、製品中(マニュアル含む)の社名を、新社名「キヤノン IT ソリューションズ株式会社」と修正致しました。

以上